



# 学校だより

No. 1

埼玉県立特別支援学校大宮ろう学園  
令和3年4月8日



## 『子を想う親の心』を忘れない

校長 荒井 宏昌

今年度もコロナ禍でのスタートとなってしまいました。いろいろな面で自粛の状況はまだまだ好転していませんが、コロナ禍ではあっても、幼児児童生徒の安心・安全を確保しつつ、創意工夫により有意義な教育活動が展開できるよう努めてまいります。

新しい学年が始まり、学校には、幼児児童生徒の明るい笑顔と活気が戻ってきました。令和3年度は、在校生の進級とともに、新幼1に10名、新小1に15名、新中1に11名、新高1に16名、新専1に6名。さらに小学部に転入児童1名、高等部に転入生徒1名を迎え、合わせて179名の幼児児童生徒が学校生活を始めます。教職員については、掲載のとおり年度当初人事異動がありました。新たな体制となった教職員は、始業式や入学式などの新年度の準備を進めながら、安心・安全な学校生活を送らせることができるように、全体での綿密な研修を重ねて実施し足並みを揃えました。

申し遅れましたが、わたくしは、かつて13年間本校の教員としてお世話になり、今回、縁があって、校長桑原の後任として戻ってまいりました「あらい ひろまさ」と申します。ろう学校の職員としては、坂戸ろうの教員経験と合わせると19年目になります。塙保己一学園で6年、本庄特別支援学校で3年の計9年間の校長を経験しましたので、校長としては10年目です。最近は県立の高校と特別支援学校の校長の相談役として3年間を過ごしました。

本校に着任した4月1日からは、自分のこれまでの人生すべてが大宮ろう学園の校長になるためにあったのだと心に刻み、本校の幼児児童生徒のために校長として何ができるかを日々考えながら、職員と共に歩んでいきたいと決意を新たにしております。

今年度の学校経営方針については、これまでの方針に即して、本校が重ねてきた実践をさらに積み上げて教育活動の充実を図り、「自分の良さを伸ばし、一人一人が輝く」という学校教育目標を達成すべく取り組んでまいります。また、『自ら学びを深め、たくましく生きる力を育む学校』という学校の姿を目指していきます。これらのことを4月1日に全職員で確認しました。

学校経営方針に加え、わたくしが掲げる学校経営のスローガンは『網戸張りの学校経営』です。中を隠さずに見えるようにすることを『ガラス張り』と言うことがあります。わたくしの造語である『網戸張りの学校経営』は、ガラス張り経営を越えて、『見えて、聞こえて、風通しもよい学校』でありたいという意味を込めています。

結びに、わたくしが学校経営するにあたり、一番大切にしたいのが、『子を想う親の心』です。我が子を想う親の心にはとうてい及ばないのですが、校長でいる間は、『子を想う親の心』を片時も忘れずに過ごし、少しでも保護者の皆様の想いに寄り添っていけるように全職員とともに歩んでまいります。

今年度も本校教育活動へのご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。